

## 事業報告概要書（公表版）

## 1 基本情報

施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
文化財庭園グループ		(指定管理者名)公益財團法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。			
指定期間					
H28.4.1 ~ R8.3.31(10年間)					

## 2 施設名

施設名	3 収支(単位:千円)				公園別支出額
	項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後楽園、六義園、旧岩崎邸庭園、向島百花園、清澄庭園、旧古河庭園、殿ヶ谷戸庭園	収入 計	992,140	769,910	977,013	浜離宮恩賜庭園:225,914、向島百花園:69,403、 旧芝離宮恩賜庭園:92,585、清澄庭園:119,378、 小石川後楽園:139,534、旧古河庭園:99,988、 六義園:162,136、殿ヶ谷戸庭園:69,200、 旧岩崎邸庭園:80,243
	内 指定管理料	647,632	619,937	845,826	
	訊 利用料金	344,508	149,973	131,187	
	支 出 計	1,058,380	990,634	1,270,721	
	差 引	△66,240	△220,724	△293,708	
	維持管理経費補填相当額	0	128,514	169,657	
	取 支 差	△66,240	△92,210	△124,051	

## 4 管理運営の概要

<基本理念> 首都東京を代表する文化財庭園の価値を高め、未来に継承するとともに、庭園文化の魅力を世界に発信します
○庭園の価値を高める ・各庭園の価値の向上を図るため、作庭意図や歴史背景を踏まえた質の高い維持管理を実施しました。
○庭園の魅力を向上する ・維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材を育成しました。 ・滞留人数把握システムの活用、イベント参加費のオンラインチケット化等、コロナ禍における安全な入園方法の取組みを進めました。
○庭園文化を世界に発信する ・地域・企業等と連携した新たな取組みの実施や周辺地域と一緒にした魅力アップにより、お客様サービス向上の取組を推進しました。 ・庭園Instagramの開設等SNSを駆使し、国内外の広範囲な利用者に向けた広報や、旅行博への出展等、情報発信を行いました。 ・首都東京の文化的観光拠点としての役割を担うとともに、窓口CS相互点検を行い、接遇の質の向上を図り、おもてなしの心でお客様をお迎えしました。

## 5 管理状況（維持管理）

## 【作庭意図や歴史的背景を踏まえた質の高い維持管理】

・浜離宮では、近年見受けられた赤潮やヘドロの堆積を改善するため、文献を基に、汐留川から新錢座鴨場へ、そして大泉水へと水の流れをつくることで水質の改善を図りました。また、直営で堰板を作り新錢座鴨場に設置したこと、水の量と質を確認しながら水の出入りを調整することができるようになり、安定した水位と水質の保持により大泉水の景観を向上させることができました。小石川では、「白糸の滝」周辺樹林の衰退や周辺の高層建築物の影響により緩衝機能が衰退した景観の補修について、有識者の助言を基に、樹種の選定や補植箇所を吟味したこと、白糸の滝周辺の景観回復を進めることができました。六義園では、継続事業として取り組んでいた「吉野の景」の景観回復を図るために、築山へ続く「木枯峯」の衰退が進むヤマザクラを補植し景観回復を進めました。さらに、「剣渓流」において、アカマツ大径木を保全するための手入れや被圧する周辺木大枝の縮減を行ったことで、山間の景観を特徴づける陽樹林へ回復させることができ樹林景観を向上させることができました。

## 【維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材育成】

・熟練職員から中堅・若手職員への技術・技能の底上げを図り、庭園維持管理に関する検討会（12回）や庭園技能に関する連絡会（4回）を通じて庭園維持管理のあり方や庭園技能の継承や向上のための検討を重ね、保存管理計画書記載の課題を改善しました。また浜離宮で「マツの剪定」、小石川では「蛇籠更新」を「庭園技能伝承研修」（2回）として実施し、各庭園に共通する庭園技術や庭園毎の個性を際立たせるために考案された特有の手入れ技能の伝承に励み、各庭園の特徴ある景観を維持することができました。

## 6 利用者アンケート結果

実施方法：庭園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の応対
浜離宮恩賜庭園	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8
旧芝離宮恩賜庭園	4.9	5.0	4.9	5.0	5.0
小石川後楽園	4.8	4.7	4.4	4.7	4.6
六義園	4.9	4.8	4.3	4.7	4.9
旧岩崎邸庭園	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7
向島百花園	5.0	4.9	4.8	5.0	4.9
清澄庭園	4.9	4.8	4.5	4.7	4.8
旧古河庭園	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8
殿ヶ谷戸庭園	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8

## 7 入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
浜離宮恩賜庭園	401,966	11月以降インバウンドの回復効果が徐々に見られ、2月後半からさらに回復しました。
旧芝離宮恩賜庭園	110,192	浜離宮との共通入園券の販売促進や周辺お散歩マップの英語版を作成配架し地域周遊の誘客効果がありました。
小石川後楽園	258,586	断続的な園内の植物開花状況の情報や、工夫を凝らした周年イベントで安定した回復率となりました。
六義園	414,821	桜花期の広報抑制が響いたが、紅葉期よりメディア露出が増加し、結果的に庭園で最多の入園者数となりました。
旧岩崎邸庭園	131,658	ボランティアによるガイドツアーの再開や、企画に独自性のあるイベントを年間を通して実施したこと、誘客効果がありました。
向島百花園	92,105	コロナ禍での3年ぶりの伝統行事の開催の広報告知が功を奏し、誘客効果がありました。
清澄庭園	199,041	地域の中心的な役割を担う連携催事を推進し、年間を通して安定的な入園者数となりました。
旧古河庭園	265,724	安全な入園動線や六義園と相互連携した誘客を効果的に行い、コロナ禍前並にせまる入園者数の回復となりました。
殿ヶ谷戸庭園	70,919	シニア層が厚い庭園だったため、コロナ以後のシニア層の減少が顕著であるが、イベントを開催して新たな層の誘客を図りました。
合 計	1,945,012	



# 浜離宮恩賜庭園

所在地：中央区／開園面積：25.02ha  
特別名勝・特別史跡

正統的な維持管理を追求する  
潮風薫る徳川将軍家の庭園



## 大泉水の水質改善に向けた取組

14  
まち再生企画  
さとうきび

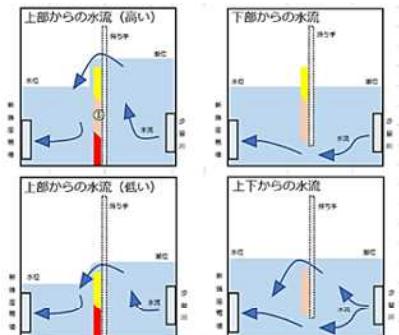
### 堰板の新規製作で水流をつくり水質と景観を飛躍的に向上



職員の工夫による堰板の構造

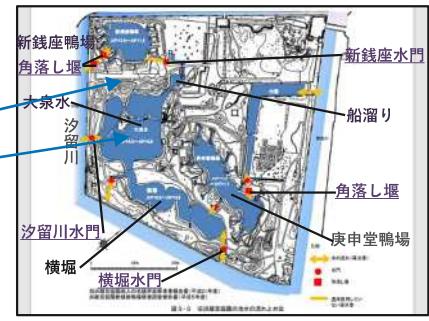
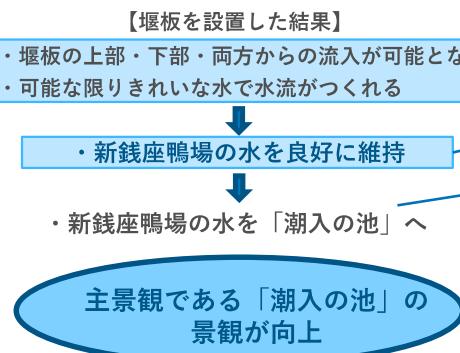
浜離宮恩賜庭園では、主要景観である**大泉水の水質改善**に向け、近年見受けられた赤潮やヘドロの堆積を改善するため、文献を基に、汐留川から新錢座鴨場へ、そして大泉水へと水の流れをつくることで**水質の改善**を図った。

**直営による製作**で持ち手のある堰板を作り新錢座鴨場の角落し堰に設置、水量と水質を確認しながら状況に応じて水の出入りを調整することができるようになり、安定した水位の保持と水質向上により大泉水の景観を向上させた。



川の水位：高、水面の水質：良→川の表面水を流入

川の水位：低もしくは同程度 →川の底水を流入



出典「東京都における文化財庭園の  
保存活用計画（旧浜離宮庭園）」

## 史跡としての本質的価値を構成する中の御門 堀重門・柵門の維持補修

12  
まち再生企画  
さとうきび

### 竹芝・汐留再開発地区の主要出入口「中の御門」の修復

2020年に開業したウォーターズ竹芝や再開発地区の人流増加で、現在、来園者の約3割が中の御門から入園。多くの入園者をお迎えする顔として、堀重門・柵門を含む枠形の復元的整備から18年が経過し経年劣化が見られる中の御門の補修を実施。更に耐久性の向上や材の保全につなげ、長寿命化にも取り組んだ。



復元的整備から18年が経過。  
7年前にも同様の補修を実施したが、今回は金物も修復。



以前の輝きを取り戻し、耐久性を  
伸ばすことにもつながった。  
補修後、来園者が堀重門・柵門の  
前で写真を撮る光景も！



高压洗浄機による洗浄及び手作業によるしみ抜き



補修前

補修後

造作による金物補修



## 潮入の池の船上雅楽実施で庭園生活を再現



### 『浜離宮でお月見散歩』との同時開催で夜間イベントに魅力的なコンテンツを追加

御台所に扮した役者が和船に乗り舟航する映像をオンライン配信した昨年度のイベントで得たノウハウを生かし、今年度は3人の楽人による船上雅楽で往時の舟遊びを再現した。

雅楽団体、和船運航業者、照明業者らと綿密に調整し、タイムスリップしたような風情と、夜間の庭園という特別な空間を優雅に演出し「非日常」を楽しんでいただいた。



1842（天保13）年、重陽の節句（9月9日）。将軍が宮家を招いて行ったとされる「船上雅楽」史実に基づく情景を再現



解説板も設置

## SDGsを学べるイベント 「生物観察体験会～潮入の池のいきものたち～」



### 「池の生き物」生体展示と解説を通じて、水質汚染を考える機会に

NPO法人水辺と生物環境保全推進機構と協働して、特徴の一つである「潮入の池」に生息する生物の生体展示と、スポットガイドを実施することで、子どもから大人まで、生き物の視点から庭園に大きな関心を持っていただくことができた。海水を取り入れた庭園の特徴を実感するとともに、環境を考える機会を提供した。



見て！触れて！学べる！



海の魚がいる！



鴨場のデモンストレーション

事前学習：パネルや生体展示で大源泉「潮入の池」の魅力を知る

園内学習：スポットガイドで「潮入の池」の観察や鴨場の仕組みを説明

各スポットは「スタンプラリー」で結び、セルフガイド方式で誘導。コロナ禍でも密にならずに楽しく学んでいただいた

## ボランティア作業をイベント化、園内収穫物を有効活用



### 初参加の企業と初の試み～梅の実採集

初めて活動する企業が取り組みやすいよう「浜離宮で梅仕事」とイベント化。新規企業4社と梅の実採集と周辺除草を実施。



企業ボランティアによる梅の実採集

梅にまつわる当園の歴史をまとめたしおりと共に実を配布

他の自主事業  
イベントへ還元  
・資源循環  
・サービス向上



・浜離宮の価値  
・企業の価値  
・地域の価値  
の向上



# 旧芝離宮恩賜庭園

所在地：港区／開園面積：4.31ha  
名勝

伝統の輪を広げる  
地域とともに成長する大名庭園



## 地域と一緒に咲かせたライトアップイベント



### エリア事業者と開催した光と食のアートな夜宴

竹芝エリアマネジメント、芝浦エリアマネジメント、世界貿易センタービルディングなど周辺エリアの事業者と共に地域活性化の布石となる”光の桜”的ショーや開催した。リバウンド警戒期間終了直後の大型イベントの実現に向けて、コロナ感染リスク軽減、園内滞留人数の把握をするため、当協会のイベントで初めてオンラインチケットを導入し、安全・安心な開催の工夫を行った。コロナ収束後に改めてお花見を楽しんでもらいたいという願いを込めた庭園のライトアップや、光のショー、プロジェクションなど歴史あるものと新しいものが融合する地域特性を活かした大胆な演出で旧芝離宮恩賜庭園の存在意義を再認識する取組みとなった。



「食と文化の地産地消」をテーマにした飲食ブース

悠久の時を越えて江戸時代の人々と同じ潮風を感じ、  
異次元的な空間を「光と音」でデジタル演出  
4日間で約3,600人が堪能！



ソーシャルディスタンスがうまく取れると  
現れる「光の桜」



桜や庭園の魅力を意識したオリジナル商品を創出

## 景観を意識した文化財保全の取組



### 砂浜の黒ボク石積護岸補修

10年を超える護岸補修により、今年度の補修により、大泉水の約半周を完了。



護岸の景色を阻害するマンホールや  
排水栓などの異質物

- ・切り下げや除去
- ・欠落した黒ボク石の据え直し、  
欠損部分の補充

護岸を形成している黒ボク石は、入手困難のため、  
**・既存石の再利用を考慮した丁寧な撤去作業**  
**・指定調達した希少な黒ボク石を補充**  
 以上のような施工での工夫を行った。



## 築山から大泉水へ より広がりのある景観の創出



### 小山の景観改善

視点場（洋館跡及び築山）からの眺望を意識した大泉水周りの修景改善の取組

今年度は小山を中心に **3つの視点【①支障木の伐採②株物撤去③安全性・利便性の向上】** で行った。

#### ①支障木の伐採

景観を阻害している小山脇の支障木タブノキを伐採（5ヶ年計画の3年目、平成18年度文化財庭園の支障樹木特定に関する分科会の認定指定樹木）。

庭園入口側から大泉水を臨む



#### ②株物撤去

小山及び州浜周辺にある池への視線を遮るツツジ等株物を撤去。

#### ③安全性・利便性の向上

雨でぬかるみやすい小山の石段園路と中腹及び頂上の園路広場の土舗装を在来工法の二和土舗装とし、景観改善と共に、利用者の安全性・利便性を向上することができた。



複数年にわたり段階的に修景の改善補修を実施してきたことで、当庭園の特徴のひとつである**大泉水とそれを取り囲む築山群の連なり**を際立たせることができた。  
また、保存管理計画にもある「広がりのある景観」を創出し、当庭園の**本質的価値を高めること**ができた。

## 地域とともにに行う文化財庭園の活性化



### 地域連携で行う周遊性向上

園結びチケットPRと地域周遊マップを作成。羽田3駅、各施設の配架協力を得て**エリア内の周遊性向上**に努めた。浜離宮との園結びチケットは、窓口でも積極的にご案内し、H31年比416%と好調な売り上げとなった。



職員手製の「周遊マップ」（日・英）

### 地域で守る地域の財産

周辺企業からのボランティア誘致のため、当園から呼びかけを行い、初の試みとして落葉清掃を2企業合同で実施。参加者からは今後の活動について前向きなご意見を頂戴し、**地域連携強化と文化財保護に対する意識向上**につながった。



2社の企業ボランティアを誘致して実施  
300ℓの袋86袋分の落葉を清掃

### 庭園の未来は子供達の中に

幼稚園教諭・保育士資格を持つ職員が地元保育園の園児へガイドを行うとともに、保育士も職員同様の解説ができるマニュアル・パネルを制作。**文化財庭園初期教育の実施**とともに**地域の財産の普及啓発**を行った。



ガイド内容のレクチャーと解説の目的を共有し、保育士も職員と同様のガイドが可能に



# 小石川後楽園

所在地：文京区／開園面積：7.08ha  
特別史跡・特別名勝

## 「文化財指定」から100年！ 続いていく、小石川後楽園



### 「文化財指定100周年記念行事」の開催～次の100年に向けて



#### 地元企業や文京区、茨城県等との連携

令和4年2月から計画し、多数の企業等から協力を得ることに成功。  
**(株)東京ドーム、文京区、茨城県、日中友好会館、水道歴史館、東京メトロ(後楽園・飯田橋)、JR水道橋駅と連携したこと**で、地域を巻き込んだ大規模なイベントとすることができた。広報面でも最大限の効果を発揮できた。



東京ドーム大型ビジョン、宣伝効果絶大

#### 文化財庭園の価値を伝えるアカデミックな催し

亀山先生、龍居先生他による「特別講演会」や文京ふるさと歴史館協力による「パネル展」を開催。改めて小石川後楽園の歴史・文化・自然環境の価値を伝えることができた。



パネル展

エンターテインメント性の高い、上質な「伝統芸能公演」  
特別なおもてなし、大名庭園ならではの「舞台」を愉しむ  
これまで、ハナショウブや紅葉期に開催し、大変好評を得ている能楽、里神楽、雅楽の公演に加え、**水戸藩の剣術や中国伝統芸能を初めて披露**。馥郁たる梅の香が微かに漂う中、多くのお客様がかつて後楽園を訪れた賓客のように様々な演目をゆったりと楽しんだ。各公演では内容の解説もあり、その世界に溶け込んで鑑賞いただいた。記念のノベルティ和紙ファイルが好評を得たほか、簡易カイロを防寒対策として配布するなど状況に応じたおもてなしを行った。涵徳亭では水戸藩にちなんだ講談と落語の会を開催、笑いとともに**400年近い小石川後楽園の歴史を感じいただき**、文化財庭園としての当園の魅力をさらに発信することができた。



屋外公演の様子



屋内公演の様子

#### 擦して楽しむ小石川後楽園

版画のように何度も重ねてスタンプを押すことで1枚の絵が完成するスタンプラリーを近隣駅等の協力で開催。後楽園を中心に回遊するルートを楽しみながら巡ってもらい、**地域連携も強化**できた。



重ね押しスタンプ

#### 次の100年を担う子どもたちに向けて

文化財庭園の未来を託すことを願い、茨城県偕楽園から譲り受けた「梅」を子どもたちと植樹した。さらに、当園を学ぶきっかけ作りとして子ども歴史検定を実施した。



植樹式の様子



## 「大名庭園」の価値を高める体験型イベントの実施



サイネージを活用し  
高精細写真で解説

### 真夏の庭園の愉しみ方を提案「早朝観蓮会」

ハスが見頃を迎える時期に、開園前の朝8時からハスをテーマとしたイベントを開催した。専門家によるスイレンとハスの違い、江戸時代から続くハスの鑑賞の仕方や生態等についての講義に続き、実際にハスの茎から糸を取る体験を実施した。また、ハスを使った水菓子を味わえる等充実した内容となり、大好評のイベントとなった。



ハスの糸を取る

### 実梅、観梅の季節におくる『種梅記』書写体験

昨年度10月に開催し好評だった「書写体験」を今年度は内容をさらに充実させて6月と2月の2回に実施した。茨城県弘道館から学芸員を招き、ウメの解説や、「種梅記」と弘道館、後楽園の座学や、江戸時代の寺子屋のように音読、書写のワークショップを行った。さらに、梅林観賞を通じ、江戸と水戸のつながりをより体感できる内容となった。参加者はリピーターも多く、イベントの高い満足度が伺えた。



気持ちを鎮めて書写

## 「鳴門水門」の補修で、本園主景觀の要「大泉水」の雄大な水の景を回復

### 施工記録のない施設を入念な下準備のうえで施工する

当園の主景觀である水の景を代表する「大泉水」。「鳴門水門」はその大泉水の西端に位置し、池水の水位を調整する重要な役割を果たしている。しかし水門設置から年月が経ち、木部の腐朽が進行し、水漏れが生じた。このことで大泉水の水位低下を招き、景觀に影響が生じていたため、東京都とも調整のうえ補修を実施することとした。

補修に際しては、過去の工事記録も無く、水面下状況が不明な点も多かったため、一部大泉水の水を堰き止めての施工となり、難しい工事となった。入念な現場調査や類似工種の記録確認などを行い、水漏れや景觀改善のための補修工事を行うことができた。水門が更新されたことで、大泉水の水位が安定し、広がりのある水景が回復できた。



## 緩衝樹林地への補植で、「白糸の滝」本来の景觀に高める取り組み

### 東京都工事の後を継ぎ、白糸の滝景觀を更に磨く

工事の際の踏圧や樹林の衰退によって、周辺のビルが見えるなど緩衝機能が衰退した箇所に、有識者のアドバイスに拠つて選んだ樹種を、現状変更許可を得て補植した。植栽箇所は土壤を改良し、日照不足の箇所は上部の木を剪定するなど植栽環境を整えることで緩衝効果を将来に亘って保つ土台ができ、「白糸の滝」本来の景觀回復を進めることができた。





# 六義園

所在地：文京区／開園面積：8.78ha  
特別名勝

## 次世代に継承する庭園の価値を 高める維持管理と魅力発信



### コロナ禍における自主事業として取り組む夜間特別観賞(紅葉・しだれ桜)の実施

#### 混雑状況を制御した新たな工夫

コロナ禍に対応する新たなイベントの開催方法を模索し、通常閉園後の『一時閉園入替制』と『オンライン事前決済』によって人数制限と接触機会の低減を実施。園内の順路案内増設による円滑な回遊等、感染症拡大抑制のための混雑状況を制御する新たな取組により、安全、安心なイベントを運営した。



感染症のため3年ぶりの紅葉ライトアップ（中の島全景）



特に人気の高いしだれ桜ライトアップは4年ぶり

#### 付加価値を高める新たな内容

『新規ルート』の開設(紅葉)、離宮傘と縁台による『フォトスポット』を園内各所に配置、岩崎家時代の土蔵を利用した『プロジェクト』では、六義園の基調をなす景勝地、季節が詠まれた“和歌”をテーマに投影、地域経済を支援する『文京区商店街出店』等、魅力向上策を複数投入し、装いも新たに付加価値を高めた。更に人数制限により園内の混雑状況が抑えられ観賞環境が大幅に向上した。開催前には、メディア内覧会を実施しテレビ放映。イベントの広報を促進して利用者増につなげた。参加者アンケートでは84%の方から「とても満足」「満足」と好評を得ることができた。



人気のフォトスポット



文京区商店街出店



土蔵へ“和歌”投影



装い新たな水香江

#### 岩崎家ゆかりの他団体施設「公益財団法人東洋文庫」との広報普及啓発の連携



#### 岩崎久彌設立「東洋文庫」との連携強化

岩崎久彌設立の「東洋文庫」にて、これまでの年2回の展示に追加し、夜間特別観賞に合わせた「しだれ桜」「ライトアップ」の過去の写真資料、販促印刷物等により、その変遷を展示紹介した。六義園の歴史を共有する二つの施設の相互入園(館)を促進する「コンビチケット」の販売拡大を図り、庭園文化の普及・啓発を行った。



初の「しだれ桜」展示



## 庭園外周部「八十八境」景観の回復への取組



### 剣渓流の陽樹林への回復によるアカマツ大木景観、“吉野の景”桜の景観回復(継続事業)

本園北側に位置する『剣渓流』において、アカマツ大径木手入れと、それらを被圧している周辺木大枝の縮減を行い、陽樹林へ回復させ山間の景観を特徴づけるアカマツの保全による樹林景観の回復を図った。“吉野”的景観を表す築山へ続く『木枯峯』では、衰退が進むヤマザクラを補植し桜の景観回復を進めた。**(継続事業)**

剣渓流、山陰橋際のアカマツ大木

ヤマザクラの補植(継続事業)



施工前



施工後



### 外周『千里場』の快適性・安全性・景観の向上

「千里場」舗装補修

多客期に開門する染井門からの外周園路『千里場』の経年劣化した舗装を補修した。馬場跡としての直線性を意識した不陸の解消のほか、園路に面する肥大化した大木の剪定等を行い、**回遊時の快適性と安全性、景観を改善した。**



施工前



施工後

### 駒込地域関係機関との連携訓練強化による防災力の向上



#### 本郷消防署駒込出張所との連携訓練強化

「本郷消防署駒込出張所」との連携、訓練を強化し、防災救急フェアを開催(2年目)。**新たな取組として煙体験ハウスを設置、AED・消火器体験とともに来園者への体験機会を拡大**した。また、日本非常食推進機構提供による非常食の無料配布も合わせて実施し、防災意識の啓発をアピールした。

消防署、警察署とは、フェア、合同訓練を通して、紅葉期、桜花期等、**多客期の事故に備える協力体制の構築**も継続強化でき、**安全安心の庭園運営力を向上させた。**



煙体験ハウス体験



消火器体験



AED体験



非常食無料配布



# 旧岩崎邸庭園

所在地：台東区／開園面積：1.82ha  
重要文化財

**利用者の期待を裏切らない！  
ハイレベルな維持と管理運営**



**利益を生み出し還元する～魅力ある自主事業の展開～**

**利用者のニーズに合った事業により利益を  
生み出す「館内撮影パッケージ販売事業」**

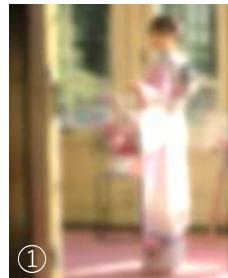
文化財の利活用拡充策として開園時間外の撮影を商品化し、館内での撮影ニーズに応えた。

→当初見込みの2倍以上となる利用件数（写真①②）

得た収益は他の自主事業実施の原資として活用

**都民への還元を図る数々の魅力ある自主事業  
の展開**

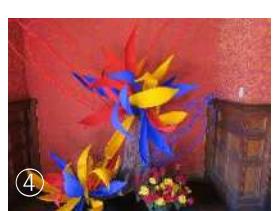
謎解きしながら非公開エリアを巡る初企画の「ミステリーツアー」は告知とともに申込が殺到する注目イベントとなり、実施後のアンケートでも高い評価を得た。また、假屋崎省吾氏の作品展示を中心とする「旧岩崎邸庭園で堪能する『美』」や「午後のミニコンサート」等、魅力あるイベントを複数開催することで来園者への利益還元を行った。（写真③④⑤）



令和4年度は対象を成人式・七五三にも拡大し販売



真っ暗な地下道を懐中電灯を手に進むミステリーツアー



④假屋崎氏の展示作品  
⑤假屋崎氏デモ & トークショー

**華麗な洋館で学ぶ！縄文時代から人の営み～東京都工事出土品展～**

**今までにない意外性のあるイベントを開催**

令和3年度の東京都工事の際に発掘された遺構から出土した土器や陶磁器等を活かして、台東区教育委員会の協力により「芝庭復元工事出土品展」として開催。出土品は縄文時代から明治時代、戦後のGHQ時代と多岐にわたり、展示と併せて旧岩崎邸の位置する場所の地形の変遷も紹介。考古学ファンや「地形好き」の心を掴み、Yahoo!のニュースでも取り上げられる注目イベントに。



台地の突端ならではの製塩土器



アメリカ軍のライフル弾薬莢



台東区学芸員によるミュージアムトーク



Yahoo! の紹介記事





## 来園者の期待を裏切らない！重要文化財にふさわしい観賞環境整備

### 隅々まで磨き上げる！利用者の目線や利便性を重視した観賞環境整備

#### ▷利用者の期待を裏切らない景観へ

玄関前アプローチや館内の隅々を見直し景観の支障となっているものを改善した結果、**重要文化財として質の高い観賞環境空間を創出。**

▷ホイールカバーの導入で和館にも車椅子で館内用車いすに畳でも使用できるよう**和室用ホイールカバーを着装**。車いす利用者が自由に和館を往き来、観賞できるようになり、サービスを向上した。



可動式柵の重しとして多用していた土のうを  
鉄物に変更し、すっきりとした印象に

館内照明の明度と電球色を  
統一し、高級感を創出



### 総合満足度UP

4.5から4.7へ

## 歴史と風格ある洋家具の再生

### 専門家の手で蘇った岩崎家ゆかりの家具

旧岩崎邸に残る洋家具は岩崎家時代のものと最高裁判所司法研修所時代のものに分けられる。令和4年度は東京都庭園美術館の協力を仰ぎ、洋家具専門に扱う技術者に依頼し、**岩崎家本邸にあった家具（ソファー、アームチェア）**と、**司法研修所時代の洋家具の初めてとなる補修**を行った。

補修完了後は洋館に設置し、津田梅子ゆかりの場所として令和5年度中の公開・展示を予定している。



脚の形状から写真に写る  
アームチェアと判明

## 重要文化財を構成する袖塀の補修

### 経年変化の進行を抑え、重要文化財の保全につながる石造物の補修

現状変更事前協議及び教育庁担当部署による、「表面処理で色調を合わせる」という指導のもと、欠損した袖塀部分について、跡が目立たず自然な風合いに仕上げることを意識し、**重要文化財の補修**を行った。



袖塀は、重要文化財旧岩崎家住宅の構成要素の1つ



断面をエポキシ樹脂で密着させ、モルタルで隙間を埋めた後、  
石粉（白河石の粉末）を擦り込んで補修  
袖塀の白色系の石材（白丁場石）に馴染む仕上がりに





# 向島百花園

所在地：墨田区／開園面積：1.08ha  
名勝・史跡

## 江戸の町人文化・園芸文化 200年の歴史と伝統の継承



### 江戸時代の展示を再現、百花園の江戸園芸文化の魅せ方



#### 江戸の園芸文化を今に伝える「大輪朝顔・変化朝顔・古典菊の展示」

大輪朝顔、変化朝顔、古典菊の展示では、展示方法や職員による解説など工夫を凝らして、期間中入園者数15,448人(目標10,000人)を達成した。江戸の園芸文化と魅力を多くの利用者に伝えることができた。来園者に喜ばれた「花手水」は、Twitterでも発信し多くの反響を得た。大輪朝顔の花水鉢を発信したり、江戸時代の文献を参考に当時の菊の品評会を忠実に再現した竹製の一輪挿しを展示するなど江戸園芸を来園者に楽しんでもらう工夫を施した。



竹の一輪挿しは資料を元に職員が手作り



解説資料付きの変化朝顔の展示



Twitterで「いいね」 1,000超え

### マスコミを活用した、町人文化漂う伝統文化の継承

#### 地域の伝統行事を担う庭園として、地域と共に今できる限りの継続を行う

町内会やビジネスホテルなど86箇所(例年55箇所)へのチラシ配布や、マスコミへのダイレクトメールを送付するなど積極的な撮影受入れを行い、テレビ局4社・ラジオ局1社に取り上げられ、虫ききの会・月見の会あわせて期間中入園者数6,251人(目標4,800人)を達成することができた。虫ききの会では、直前の自然環境の変化(高温)で、大量にスズムシが死ぬなどの被害があったが、代替としてメダカの放流を行うことで、伝統行事の放虫式を無事継続実施することができた。



実際にテレビ放映された様子



放虫式(メダカの放流)



景観に配慮した灯りの設置



## 生涯学習センターと連携した隅田川焼文化の普及・啓発【新規】



### 生涯学習センターでの講座・当園での体験を通して隅田川焼の魅力を伝える

生涯学習センター「ユートリヤ」と初めて連携して、隅田川焼の歴史や魅力を伝える講座の開催、隅田川焼を再現した楽焼体験(素焼きした陶器への絵付け体験)を実施し、参加者に分かりやすく、**当園で行われていた隅田川焼の文化を伝えることができた。**また、楽焼体験当日は、佐原家(初代園主の子孫)の協力で、**佐原家に残る当時の隅田川焼を御成座敷に展示し、来園者も貴重な焼き物を観覧し楽しんでいただけた。**



生涯学習センター「ユートリヤ」での隅田川焼の講座



楽焼体験(絵付け体験)



現存する隅田川焼の展示(御成座敷)

### 梅洞水の釣瓶の更新

#### 老朽化して破損した釣瓶を古写真をもとに更新設置

老朽化した梅洞水(つるべ式の井戸)を製作し、古写真を基に再設置した。設置にあたっては、野木の自然木を使用して、往時の形状に近づけるとともに、桶の形など古写真を参考に製作した。お正月の「若水汲み」などの生活用水として使用していた**往時の景観に近づける**ことができ来園者の目を楽しませることができた。



### 庭園の本質的価値を構成する梅林再生の取組 古絵図に基づいた移植



#### 古絵図にある名木「寿星梅」を本来の位置に補植

令和2年度から取り組んできた向島百花園の名木「寿星梅」復元計画の仕上げとして、昨年度に移植準備を行った古品種「白滝枝垂れ(寿星梅の条件を満たす梅木)」を、史資料を基に本来の位置であるハギのトンネルそばに移植した。**古絵図に基づく移植により、新梅屋敷と呼ばれた往時の梅林の景観に近づける**ことができた。





# 清澄庭園

所在地：江東区／開園面積：8.10ha  
都指定名勝

## 深川地域のフラッグシップ！ -改善・改良を重ね前進-



### 地域活性や施設間連携で担う重要なポジション



#### 地域活性・社会貢献の取組～第3回「アートパラ深川」

3回目を迎えた今回の企画は、現代アーティストによる巨大アート絵馬を中心とする特別企画展示、園内で庭園・絵画・音楽のコラボレーションを楽しむ「芝生ホリディ」といった新しい仕掛けの開催要望があり、展示目的の利用者もそうでない利用者も安全に気持ち良く庭園をお楽しみいただけるよう、積極的な実施調整を重ね実現させた。 **フラッグシップ施設としての期待に協力し、地域活性・社会貢献への役割**を担った。



特別企画展示を見学する参加者（アートパラ深川）

#### 近隣施設連絡会から発展・拡大する連携協力を主導

「近隣施設間連絡会」で発起人としてリーダーシップを發揮。協力関係促進を提案し、深川図書館との連携イベント実施拡大や、松尾芭蕉ゆかりの街の一員として、江東区芭蕉記念館と連携した「第12回きごさい全国小中学生俳句大会」への協力体制など、連絡会をきっかけとした展開につなげた。今後も、**相互協力における日本文化の普及・啓発や次世代を担う親子への利用促進**を図っていく。



無料開園日の周知で拡大開催に（青空話会）

### 利用者特性に応じた開催を導入した防災訓練



#### 参加者の理解度やニーズは異なる

対象者により異なる目標が必要となる課題について、所轄消防署や教育施設等と調整し、より効果的な防災訓練実施とするため内容を改善した。**訓練回数を増やし、「園児・保護者」、「インターナショナルスクール」、「保育施設」のカテゴリー別に開催。**また、「テロ訓練」を警察署の協力で初開催した。



都に1台のVR防災体験車



テロ訓練には近隣施設等も参加

#### 継続した努力に評価

今年度は、内容の改善や試行錯誤を繰り返し、消防署や警察署との調整の末、東京で1台しかないVR車の導入や、警察や消防が言語の壁で**連絡体制構築に難航**していたインターナショナルスクールとの防災訓練実現などを実施した。これら**防災訓練の計画を主導した上で実施した活動に対し、東京消防庁より感謝状を贈呈された。**



インターナショナルスクール対応



東京消防庁より感謝状



## 庭園観賞の魅力向上を図る景観の修復と改善の取組



### 富士山の景観を修復する取組

平成23年度から長期計画で取り組んでいる富士山の景観改善を保存管理計画に基づいて実施。**稜線の明瞭化**と、近隣の高層建築の遮蔽となる**植栽の形成**を目標に、遮蔽植栽の樹冠を形成する山頂高木の剪定を行った。今年度からは、背景の遮蔽植栽として育成していくための常緑樹を補植し、当園の象徴である「富士山」の存在感を高め、作庭意図が効果的に現れた景観づくりをさらに進めることで庭園の景観向上に努めた。



2018



2023

### 大泉水の景観を改善する取組

公園協会内で池水浄化ワーキンググループを結成し、超音波によるアオコ抑制装置の導入に向けて段階的に試験を実施。試験結果を踏まえ、令和2年3月より**超音波によるアオコ抑制装置を稼働**した。直営作業員による毎月のメンテナンスにより装置の性能を維持し、経過を観察してきた成果で、透視度が平均5cm程度高まったほか、アオコの発生が改善された。更に、透視度が改善された大泉水で、水棲生物への対応も実施。直営作業員が外来種であるミシシッピアカミミガメなどを駆除し、更なる**大泉水の景観改善**へと繋がった。



大泉水 (2019.09)



大泉水 (2022.09)



超音波によるアオコ抑制装置



捕獲したミシシッピアカミミガメ

### 工夫や改善を重ねる「おもてなし」の場

#### 大正記念館「お休み処」

甘味などを提供する休憩スポットを繁忙期に期間限定で開設。また、施設特性を生かし、庭園紹介パネル展示やデジタルサイネージを活用して庭園のPRを実施した。また、警視庁や東京都、庭園が作成した動画を放映し、庭園・地域・防災を周知した。



#### 涼亭「清澄茶屋」

利用者からの要望も多い涼亭での休憩スポットを適宜開設した。古写真を原案に縁側の特別席を設置するなど、常に満足度向上を意識した取組を行い、東京都選定歴史的建造物の価値をPRし、利用者サービスの向上を図った。



#### クールスポットで猛暑対策

導入時の費用やランニングコストを抑えながら設置ができる簡易ミストによるクールスポットを提供。毎年、設置個所に改善を加えながら、**おもてなしの場創出**と熱中症対策をオリジナル揭示物と合わせて行った。





# 旧古河庭園

所在地：北区／開園面積：3.07ha  
名勝

地域と共生する文化財庭園  
未来に繋ぐ価値向上の取組



名勝庭園を後世に残すために



## 旧古河庭園における日本庭園価値向上のための直営での維持管理

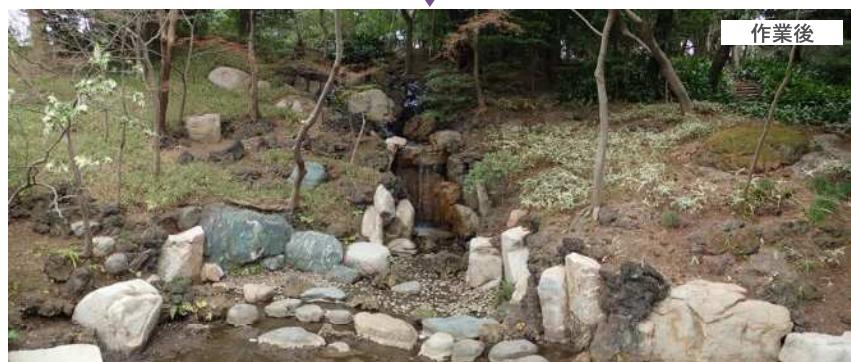
主景観の一つである大滝の斜面において、剪定や除草、笹刈等の作業を直営で行い、石組や流れも明瞭となり、迫力のある景観を展望できるようになった。植治の庭らしさを意識し、多客期を見据えた時期に心字池周りの株物を小さく仕立てたことで、景物や石組が際立つ、池本来の景を多くの方に提供できた。



心字池周辺の株物管理



作業前



作業後

## 多客期を見据えたバラ管理

直営で管理するバラ園では、園内を彩る大輪のバラは庭園の魅力をさらに高める要素として、年間計画に基づいた剪定・施肥などにより、春・秋に合わせた開花調整を行っている。当園のバラは入手困難な品種が多く、全国のバラ園・愛好家からの注目度も高い。管理の要となる人材育成として、専門家による講座・教育連携、ベテラン技能職員が年間を通して技能を伝承し、洋館と庭園・バラ園との景観や洋館からバラ園・庭園への眺めに留意した景観整備を進め、当園の中心的景観として、風格のある景観を整備、本質的価値の保存・継承につなげた。



直営で代々受け継がれた高水準のバラ管理

多くの来園者が訪れたバラ園



## 関係団体と協力関係を築き、魅力ある庭園の普及啓発



### 鉄道会社や自治体とともに、地域観光施設の目玉として界隈活性化の中核を担う



B1ポスター2種、デジタルサイネージ等を周辺JR5駅へ掲示



北区二十歳の集い フォトスポット提供

地域を盛り上げるという互いの思いのもと、初めてJR駒込駅に大きな広報協力をいただいた。都電各駅、近隣施設へのポスター掲示も継続して実施し、**今年度の利用者は265,724人（前年比232%）**となり、**地域活力の増進・お出かけの機運醸成に大きく貢献した。**また、北区に区営バス内のデジタルサイネージ掲出に協力をいただき、こちらも「二十歳の集い」でフォトスポットを提供了。今後も警察、消防等も含めた行政と良好な関係を維持し、一体となって**地域に愛され、還元する取組を目指す。**

### 想像力を掻き立てる広報と連携させたイベント

社会情勢に合わせてバラの香りで広報活動を展開した「秋のバラフェスティバル」では計4件の生中継を呼び込み、**利用者はコロナ禍でも過去最高の63,344人（平成31年度比231%）**となった。強みとなっているTwitterは、フォロワー数が4月から7,935人増加の30,000人と発信力・拡散力をさらに強化し、**秋季の利用者増（10・11月の入園者数93,601人、前年比 146%）**に大きく作用した。「春バラの人気投票」は初めてTwitterと来園者投票の合同開催で実施し、過去最高得票数となった。



春バラの人気投票 投票場所の様子  
合計16,682票  
(来園者投票5,897票、Twitter投票10,785票)

## 安全・安心を提供する庭園運営

### 安心を通じた信頼できる観光施設の確立

多客期には正門前の密集を回避するため、設備や動線を鑑みて独自の待ち列オペレーションを整備した。また、窓口の待ち時間をTwitterで定期的に発信し、**安心して来園できる環境を提供した。**



窓口前オペレーション

### 安全に繋がる適切な維持管理

通学路でもある道路に面した外周部の大規模剪定を行い、**通行障害や落枝事故の予防**に努めた。その他にも、経年劣化した二和土舗装の貼り替えや土居木段の更新を行い、**景観改善とともに歩行の安全を確保した。**



高所作業車を使用した外周部剪定（総延長245m）



# 殿ヶ谷戸庭園

所在地：国分寺市／開園面積：2.1ha／名勝

武蔵野の自然そのままに  
身近で地域に愛される  
歴史資産の継承

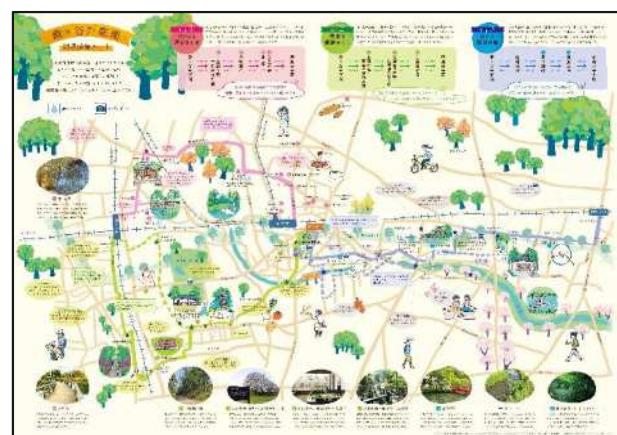


## 庭園初の崖線散策マップ「むさしのリトルトリップ」製作



庭園と崖線散策が楽しくなる魅力満載のお楽しみマップで庭園と地域がつながる！

国分寺市や東京経済大学等に協力を呼び掛け、市商工会主催で地元店を毎年人気投票する「国分寺お店大賞」グランプリ受賞店などを国分寺崖線沿いの散策ルート上の見所と併せて紹介、**散策が楽しくなる地域の魅力満載の「むさしのリトルトリップ」を殿ヶ谷戸庭園として初めて製作**。市、大学など近隣の関係者に配布した。



庭園初の散策マップ「むさしのリトルトリップ」 庭園・お店情報面（左）と散策ルートマップ（右）

さらに、今回の**散策マップ発行を記念して崖線散策ツアーイベントを実施し、活用した**。講師による庭園ガイドと併せて紅葉亭でのマップ内容の紹介、散策ルートの一部を巡る体験ツアーで国分寺崖線の見所やお店を紹介しながら**地域の魅力を体感してもらい、多くのツアー参加者から好評をいただいた**。

## 「武蔵野の秋をいける」～紅葉亭で秋を愉しむ生け花体験イベント開催～



参加者の感性を生かし武蔵野の野草と珍しい花器で自由にいける生け花は大変好評



個の感性を生かした楽しい生け花



参加者が珍しい花器で自由にいける

集会施設利用促進を目的とし、紅葉亭で秋を感じられる生け花体験イベントを実施した。花の会ボランティアに講師を依頼し、珍しい花材や花器で自由に生けるため参加者には大変好評であった。さらに、記念撮影のサービスなども盛り込むことで参加者から高い評価をいただいた。

参加者アンケートでは、**参加者20人全員から「大変良い」イベント評価をいただき、紅葉亭の10月利用件数はコロナ前の140%増（2019年度10件→14件）となり、集会施設の利用促進に一役買うことができた。**



## 七夕飾りの地域連携イベント

### 「地域連携で七夕飾り」～庭園の竹を通じ、駅ビルとの初コラボでイベント開催～

JR駅ビルと庭園で駅ビル内部での七夕イベントのコラボを企画。庭園側からは七夕飾り用の竹を提供し、JR駅ビル内レストランフロアで七夕飾りと庭園紹介パネル展を初めて共同開催した。多くの駅ビル利用者に対して、伝統文化を継承している庭園の魅力を訴求することができた。



JR駅ビル共用部での展示



七夕飾りと庭園パネル・配架物



駅徒歩2分の立地を活かしイベント誘致



駅徒歩2分の立地を活かしイベント誘致

### 貴重な文化財建造物を守るさまざまな取り組み



#### 点検補修の積み重ねによる建造物保護

昭和9年(1934)年建築の主屋と紅葉亭は、経年劣化への対応が課題となっている。文化財建造物の維持には、日々の気象変化による影響や建物劣化を見逃さないこまやかな日常点検と迅速な補修が必要である。その中で、漏水による建物腐朽を防止するための主屋と紅葉亭の屋根銅板補修を実施した。さらに、紅葉亭四阿の縁台清掃により美しい木目がよみがえった。また、蔵周囲の排水樹切下げにより雨水流入を防止を図ることで近年のゲリラ豪雨対策を施した。



### 庭園工作物の更新による景観向上の取組



#### 庭園技能伝承研修に基づく建仁寺垣の更新

令和3年度庭園技能伝承研修に若手職員が参加、研修で学んだ施工法を基に、建仁寺垣を直営で施工した。部材の焼入れ等の材料準備から始め、水盛管を使った墨出しと併せ、親柱・間柱建て込み（垂直）と滑板取付け（水平）を正確に施工、伝統技能を活かした均整の取れた美しい建仁寺垣が更新され景観向上につながった。



### 野草の充実による利用者サービスの向上

#### 調査に基づくマップ作製と野草移植



年間を通して野草調査により蓄積したデータを基に、園内の見頃な植物を紹介するマップを作成し、利用者に配布したことで正確な野草の開花情報を提供することができた。

またサービス向上の一環として、園内の四季の野草をピックアップし車回しに移植、高齢者や障害者など崖線下に降りられない利用者にも園内の野草を楽しんでいただくことができた。